

各病院が専門とするがんに対する診療機能

記載の有無 あり
※表紙①に反映されます

病院名: 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

期間: 平成26年9月1日現在

※原発巣に記載すること。

1. 脳腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり / なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
						体外 照射	定位 放射線 療法	IMRT			小線源 治療	治療内容	治療実績
1 脳神経外科	6	6	○	○	○	○	×	×	当院の脳腫瘍手術の特徴は、悪性脳腫瘍はもとより、髄膜腫、下垂体腫瘍、神経鞘腫などの良性腫瘍に対しても、ニューロナビゲーター (file: Navi)、神経内視鏡などの最先端の画像技術を駆使する医療機器を用いた手術療法、化学療法、放射線治療、定位放射線治療、免疫療法などを提供し、低侵襲的放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識が	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/ns/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 放射線治療科	2	2	×	×	○	○	×	×		独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/radiolog/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3										http://			
4										http://			
5										http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日～12月31日

例: 神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫
 神経膠腫、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、転移性脳腫瘍